

恵那高等学校創立100周年記念事業 中尾昭公先生講演会

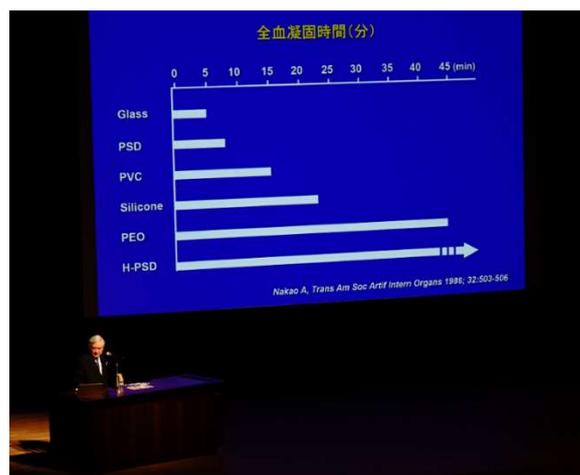
令和5年1月29日(日)、恵那文化センター大ホールで720余名のご参集を得、講演会を行いました。会場ロビーでは広報委員会によって作成された「城陵100年の歩み」パネル展示と100周年記念Tシャツを着た受付係がお迎えしました。



大ホールはおそらく新型コロナ感染予防措置が取られた後では最も多い聴衆であったと思われませんが、皆様のご協力を得て整然と落ち着いた雰囲気の中で、恵那高等学校音楽部による合唱で幕開けとなりました。

続いて、阿部同窓会長(高校27回)より100周年記念事業は同窓会のみならずご支援ご協力を頂いた地域の皆さんに感謝を表す機会として取り組んでいること、この後もいくつかを予定する事が伝えられました。

引き続き中尾先生のご紹介があり「継続こそ上達への道」の演題で講演が始まりました。幼少の頃から高校生までのエピソードにユーモアを交えたお話にあたたかい先生の人となりを知り、大学・大学院・研修医・勤務医の歩みご紹介に、道を見つけるまでの過程を見、そして第二外科での研鑽と研究を画像やデータを使ってのお話で医学者、科学者、教育者はかくあるものという姿を示されておられると思いました。



講演後の2名の質問者に丁寧にお答えされたのち、『まだ上達できると思い取組んでいる』というお言葉に、一同が励まされる思いで一杯になったご講演でした。